



令和4年9月 28 日
佛教大学附属幼稚園

「仏教保育 10月のねらい」
同時協力

「^{きょういく}共育(ともそだち)」

園長 佐藤 和順

朝夕に吹く風に秋らしさを感じる好季節となりました。今年の夏の暑さは格別であったと感じています。秋といえば「スポーツ」「読書」「食欲」等様々な楽しみ方があります。園でもいろいろな秋を子ども達は経験しますが、今月行われる運動会は「スポーツの秋」の代表的行事ともいえるでしょう。

今月の保育の目標は「同時協力(どうじきょうりょく)お互い助け合う」です。一人でできないことも、二人ならできます。二人でできないことも、大勢ならできます。皆で助け合うことによって思いもかけない大きなこと、経験ができることを学んでほしいと思っています。

運動会の練習ではまさにこの同時協力が実践され、団体競技のみならず個人競技等でも協力して取り組む姿がみられます。例えば、年齢が小さい学年は自分のことで精いっぱい、自分の番が終わるとつつい他のごとに気を取られるという光景も見られます。一方、年長児ともなるとそうではありません。時には立ち上がって声を枯らしながら友達を応援する姿が見られます。入園してから年長組になるまでの数年間の園生活で培った「同時協力」の経験から、助け合うことや、協力することの大切さが自然に身についているのです。自分は直接かわりがないことでも「がんばれ」と友達を応援する言葉が自然に出てくることもまた、「同時協力」の姿であるでしょう。運動会という大きな行事を一から作り上げることにより、子ども達は自信を持ち、友達同士の繋がりも一段と深まります。友達と一緒に時間を大切に、友達と共に育つ。園が目指す「共育」の姿でもあるのです。

運動会だけではなくありません。広沢なかよしまつりでも友達といろいろなことを経験することでしょう。また、毎日の保育においても同様です。日々の生活の中でもすぐあきらめたり、くじけたりしないこと、友達と仲良く協力することを子ども達には経験してほしいと願っています。この秋、日々の保育や行事が子どもにとって実り多き収穫になることを願いながら、保育者自身も子どもと想いを共有し、充実した園生活を過ごしていきたいと思っています。

